

オープンフォーラム

『 #THE FUTURE IS ART 明日を拓くマネジメント』

オンライン開催のお知らせ

11月13日（金）より事前申し込み受付開始！

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、国際都市としての芸術文化のあり方をめぐるフォーラムを開催します。

今、全世界が新型コロナウイルスという共通の問題を抱え、この未曾有の危機をどう乗り越え、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の社会はどうか、活発に議論されています。今回のフォーラムは、必然としてのパラダイムシフトにどう対応するのか、「未来の東京」を見据えた芸術文化のあり方をテーマとして議論します。持続可能な社会を築き、芸術文化の強靭性を高め、脅威をチャンスに転換する可能性について、多角的なテーマから連続シリーズとして取り上げる予定です。

初回は、「芸術文化に携わるプロデューサー」に焦点を当てます。「賃金」「人」「場所」「時間」という課題をマネージし、アイデアを目に見える形として実現するプロデューサー。激変する社会状況の中で、最前線で活躍する彼ら・彼女らの視点からコロナで浮き彫りになった根源的な課題と、それ以降のあり方、新しい課題への取り組みや展望などを取り上げます。是非ご視聴ください。

申し込み方法についてはアーツカウンシル東京ウェブサイトをご覧ください。

開催概要

- 開催日時 2020（令和2）年12月9日（水）午後5時00分～午後6時30分
- 開催方法 オンライン配信
- 参加費 無料（事前申込制）
- 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
- 登壇者（五十音順・敬称略）
 宇川 直宏（現在美術家）
 勝山 康晴（コンドルズ プロデューサー兼 ROCKSTAR 有限会社代表取締役）
 須藤 美沙（ライブハウス四谷天窓 制作・ブッキング・エンジニア）
- モデレーター：太下 義之（文化政策研究者）



宇川 直宏



勝山 康晴



須藤 美沙



太下 義之

■当日のプログラム※プログラムの内容は、一部変更になる可能性がありますのでご了承ください。

第1部 各登壇者によるプレゼンテーション

第2部 ディスカッション

■登壇者/モデレーター プロフィール（五十音順・敬称略）

● 宇川直宏 | UKAWA NAOHIRO (DOMMUNE)

"現在美術家"。1968年生まれ。香川県／高松市出身。映像作家／グラフィックデザイナー／VJ／大学教授／文筆家／そして"現在美術家"など、幅広く極めて多岐に渡る活動を行う全方向的アーティスト。既成のファインアートと大衆文化の枠組みを抹消し、現在の日本にあって最も自由な表現活動を行っている"MEDIA THERAPIST"。2010年3月、突如個人で立ち上げたライブストリーミングスタジオ兼チャンネル「DOMMUNE」は、百花繚乱のストリーミング番組の中でも、圧倒的人気と質を誇り、開局以来10年、国内外で話題を呼び続けている。2019年11月、渋谷PARCO9階のクリエイティブスタジオに移転。5G以降の最前衛テクノロジーと共に未来を見据えたUPDATEを図り、ファイナルメディア『DOMMUNE』の進化形態『SUPER DOMMUNE』へと進化した。<http://www.dommune.com/>

● 勝山 康晴

「コンドルズ」プロデューサー兼ROCKSTAR 有限会社代表取締役。
世界30ヶ国以上で公演、ニューヨークタイムズ紙が絶賛、NHKホール公演を秒殺完売超満員＋追加公演にしてみせた。近年は障がい者ダンスチーム公演、NHKエデュケーショナルと共に子ども向け参加型公演、博多座をはじめ地方の市民参加型公演の総監督、プロデュースも務め、「SDGs」に貢献しえる活動、舞台芸術を通じた「共生社会の実現」に挑戦している。作家として『コンドルズ血風録』（ポプラ社）、『朝日中高生新聞』などの媒体で執筆。TOKYO FM、Nack5、文化放送などでラジオ番組のパーソナリティも務め、TEDxにも登壇。ロックバンド「FF0000」のボーカル、作詞作曲担当。エピックからメジャーデビュー、日産、カルピスなどのTVCMタイアップ。NHK『MUSIC JAPAN』出演。元桐朋学園芸術短期大学客員教授。

● 須藤 美沙

ライブハウス「四谷天窓」グループ所属 音響・照明・ブッキングスタッフ。
「ぴんく」というあだ名で沢山のミュージシャン、役者を中心としたアーティストに親しまれ、PAとイベント運営を担当。女性弾き語りアーティストを集めた「PINKY GIRLS PARTY!!」、予約不要で気軽に見られることに重点を置いた「ライブハウスで会いましょう」、同主旨の配信版「画面の向こうで会いましょう」など、アコースティック弾き語りのシンガーソングライターを中心に企画制作に携わる。

● 太下 義之

文化政策研究者、博士（芸術学）、同志社大学教授、国際日本文化研究センター客員教授。
クリエイティブ・ディレクターの加藤種男氏と共同で、文化政策を専門とするシンクタンク Active Archipelago を2020年4月に結社。その他、文化庁食文化ワーキンググループ委員長、東京都芸術文化評議会委員（文化政策部会長）、公益財団法人静岡県舞台芸術センター評議員、オリンピック・パラリンピック文化プログラム静岡県推進委員会副委員長、2025年大阪万博アカデミック・アンバサダー、アーツカウンシル新潟アドバイザー、鶴岡市食文化創造都市アドバイザー等、文化政策関係の委員を多数兼務。

■オープンフォーラムについて

芸術文化分野において今日のかつ重要なテーマを取り上げるフォーラムを開催し、様々な分野の有識者の方々にご登壇頂き、国際都市としての芸術文化施策の在り方をめぐる議論の場の創出を目指しています。

■アーツカウンシル東京について

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取り組みを、「Tokyo Tokyo FESTIVAL」として展開しています。

◆ ◇ ◆ リリース・掲載・本事業に関するお問い合わせ先 ◆ ◇ ◆

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

オリンピック・パラリンピック文化戦略担当

TEL : 03-6256-8433 MAIL : bp-josei@artscouncil-tokyo.jp 担当：角南 / 結城